



平成30年度 定期総会

～ 3世代共住の街創りの前進を！～



4月14日(日)、平成30年度の町内会定期総会が郷州小学校の体育館で開催されました。

山下会長は挨拶や活動計画の中で、3世代共生の街創りをさらに前進させたいとして、各種の行事や訓練などに誘い合わせて参加する環境づくり(ご近所力の発揮)の重要性を強調しました。



議事では、第1号:平成30年度活動報告及び収支決算、第2号:平成31年度役員、第3号:平成31年度活動計画及び収支予算(案)がすべて原案どおり承認されて新年度のスタートとなりました。

(広報委員)



山下 勝博 会長
(防犯)



泉 正男 副会長
(総務)



大村 光弘 副会長
(福祉)



相澤 操 副会長
(環境)



中谷 武世 副会長
(防災)



益子 寿夫 監事



鹿島 隆弘 監事

▶ 民生委員・児童委員は地域の皆さんの身近な相談役です。困りごとがありましたらなんでもお気軽にご相談ください。委員の皆さんは以下のとおりです。
(民生委員児童委員協議会)

- ▶ 1丁目 播磨 智 ☎48-7844
- ▶ 2丁目 澤田康志 ☎45-3036
- ▶ 3丁目 近藤秀雄 ☎48-4069
- ▶ 4丁目 鈴木正博 ☎45-4536
- ▶ 5丁目 熊倉 誠 ☎45-7567
- ▶ 6丁目 松村泰延 ☎45-7197
- ▶ 7丁目 江幡俊文 ☎48-5710
- ▶ 8丁目 上島一雄 ☎45-0236
- ▶ 南地区主任児童委員 間宮孝子 ☎45-3066

近藤さん(8丁目)が「守谷市善行表彰」を受賞

1月11日(金)に開催された平成31年守谷市賀詞交換会において、長年にわたりボランティアで市役所敷地内の花壇整備に尽くされ、市役所から始まる市の緑化・美化の推進に貢献された近藤はと美さん(8丁目)が、「守谷市善行表彰」を受賞されました。(広報委員)



ボランティア活動は平成8年の守谷町のアイデアモニター10期生10人で、9年3月グループ「てんとう虫」を立ち上げました。会員の諸事情で次々退会して二人になってしまいました。活動を続けていましたが、もう一人が転職になり『あなたが帰ってくるまで頑張ってる』と活動を続けていました。その方は国家公務員なので岡山・広島・香川・福岡と転居し全く守谷に返ってこなくて、今は一人で続けています。

平成8年4月から23年『あなたが帰ってくるまで頑張ってる』と活動を続けています。その活動が今回認められました。

食事交流会 みずき野の地域福祉活動

3月2日(土) 1日早くおひな祭りを兼ねた、社協食事交流会を開催しました。

当日は25名の皆さまと共に、春を壽ほぎながら、お弁当と桜餅に舌鼓。そして、楽しいお喋りの花盛りのひとときを過ごしました。(社協みずき野支部 山田洋子)



シェアハウス大学生の壮行会



3月24日(日)、集会所においてこの春シェアハウスを退出される学生さんの壮行会が開かれました。

今回は4名が就職や進学のためみずき野から転出されますが、あいにく急な用件などのため4名は都合がつかず3丁目の南家さん(写真中央)一人を送り出す会となりました。

2時間余りの歓談の後、転出される4名のご活躍を祈念して壮行会はお開きとなりました。

(町内会 松本典幸)



4月1日(月)快晴の下、五・六分咲きのさくらの杜公園でみずき会の第5回お花見会が103名の参加を得て盛大に開催されました。この日はくしくも新元号発表の日でしたが、政府予告の発表時刻がずれ込んだためか会員の出足が鈍く、正午からの開会も少しずれ込みました。また、開会挨拶では官房長官並みに自筆の「令和」の額が掲げられるなど、新元号への関心の高さが伺われるスタートになりました。



食事の後、丁目対抗の「玉入れ」と「輪投げ」の熱戦が繰り広げられ、夫々4丁目と5丁目が優勝しました。

当日は8時から、役員、ボランティアの方々によって会場整備や豚汁、甘酒の仕込みなどが行われ、参加者はお代わりをしながら舌鼓を打っていました。また、シェアハウスの学生さんが受付や競技の進行に協力してくれる姿にも頼もしさを感じた一日でした。

(広報委員)



みずき会 会員募集

概ね60歳以上の方 年会費1000円

主催行事	バス旅行 講演会 コンサート お花見会 忘年会 みずき野寄席 等々
協賛行事	市のシニアクラブ(スポーツ大会)・町内会(夏祭り他)・郷州小(運動会)等

みずき会の14サークルで楽しく活動しませんか。
 雑技げ・囲碁・将棋・テニス・ソフトボール・バタンク・パソコン教室・カラオケ
 健康麻雀・ノルディックウォーキング・茶話会・土に親しむ会・史跡散歩の会

みずき会(シニアクラブ)では、みずき野在住で概ね60歳以上の方を随時会員募集しております。申込は、みずき野集会所に備えてある申込書に記入後、集会所内「みずき会ポスト」に投函お願いします。



「6丁目チョイサポの会」について代表の堀さんにお伺いしました！

3年前、6丁目の自主防災打合せの場で「ご近所同士で家事のちょっとしたお手伝いをする仕組み」を提案したところ反響を呼び、賛同した20数名のサポーターで1年ほど時間をかけて検討・準備を行いました。昨年3月には「6丁目チョイサポの会会則」も制定し「安心して住み続けられる地域づくりを目指して、身近な助け合いを行う」活動が始まりました。

お手伝いの内容は、家事、庭仕事、買い物同行、器具修理、役所・病院同行ほか多岐にわたっています。しかし、あくまで専門的な技術を要するものではなく、今まで自分でやってこられた家事のお手伝いをするものです。なかなか自分だけではやれなくなった高齢者等の皆さんのお手伝いをするのが目的です。

支援内容の中では「調理支援」というものもあります。サポーターが自分の家庭の料理の際に利用者の食事のおかずを一緒に調理しお届けするものです。利用実績が多く皆さんに喜ばれています。

6丁目チョイサポ利用者の声

まずは、この会の創立者サポーターの方たちに敬意と感謝をしたいと思います。高齢で一人暮らしの身にとりまして、どんなに心強く安心のことか。これまでお世話になりましたことを記してみました。自分から依頼したことのほか、サポーターの方から申し出てくださったことがこんなにもありました。

歯科、眼鏡店、電気屋に行ってもらいました。そして石油の補充、庭木伐採後のごみ出し、本箱の移動、御簾の補修、蛍光灯やテレビの点検、本屋への代行など、挙げれば数えきれないほどお世話になりました。自分でできることは自分でやると心掛けていますが、日常生活での困りごととは案外多く大変助かっています。サポーターの方たちは、それとなく見回ってくれて「困ったことないですか、大丈夫ですか」とやさしく声をかけてくれます。6丁目のチョイサポは、優しく思いやりの心が原点にあります。6丁目だけではなく、1丁目から8丁目までこのような会ができることを切に願う次第です。このみずき野に住み、この6丁目に住み良かったなあ～と感謝する日々です。



7月20日(土)

第37回 ふるさとみずき野リンリン夏まつり

夏まつり運営ボランティアを募集しております。今年もご支援お願いします。詳しくは、町内会事務所へ問い合わせ願います。



編集後記

新緑4月の町内会定期総会では、「3世代が共住し、安心・安全に住み続けることができる街創り」を引き続き目指し進めることが決議されました。行政任せではない、住民自らがお互いに見守り助け合う、地域づくりが期待されています。

今回、6丁目チョイサポの会の活動について伺う機会がありましたが、このような活動は、その地域の人々相互の信頼関係と強い助け合い意識の上に築かれていることを実感しました。会社の仕事のように指示・命令の下で進められるようなものではなく、地域を愛する心と住民自らが自発的に行動する意欲が無ければ実現しないものだと理解しました。

(広報委員会 都俊生)